

2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	コミュニケーション技術の応用	教員氏名	下西 潤子
学年	専攻科	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	4単位
必修・選択	専攻科	実務経験	看護師 20年
テーマ	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学ぶ。		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	<p>コミュニケーション技術の基本では利用者やその家族、他職種と良好な関係性を培うコミュニケーションの必要性を学んだ。そして介護福祉士に求められる援助者としての態度や関係性を培うコミュニケーション技術について理解を深めてきた。本講義ではコミュニケーション障害の状態や原因について学び、コミュニケーション障害を持つ利用者の生活支援に必要なコミュニケーション技術を学ぶ。また介護は他職種との協働が欠かせない。介護におけるチームのコミュニケーションの意義を理解し、チームの一員としてのコミュニケーションの方法(記録、報告、会議)などを学ぶ。</p>		
授業の到達目標	<p>①介護における他職種協働に必要なコミュニケーションとは何かを学び理解する。                  ②他職種協働におけるチームの一員としてのコミュニケーションに必要な記録や報告などを学び、その技術を習得する。                  ③感覚機能、運動機能、認知・知覚機能が低下している人の状態について理解し、それに応じたコミュニケーション技術について学び、その技術を習得する。                  ④各領域で学んだ知識と技術を統合し介護実践に必要な観察力、判断力及び思考力を養う。</p>		
テキスト	「コミュニケーション技術」 中央法規		
参考書	「介護福祉士国家試験ワークブック2019」中央法規		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	ワーク17[コミュニケーションを促す環境に必要なこと]		
課題の確認と成績評価方法	試験 60% 授業内レポート25% 授業の取り組み 15%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・授業概要の説明・肯定的な言葉がけが及ぼす効果
	授業外指示	肯定的な言葉がけにはどのようなものがあるか、考える
第2回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション① 視覚機能が低下している人の特徴を学ぶ
	授業外指示	高齢者に多い視覚障害をまとめる。
第3回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション①視覚機能が低下している人に対する支援の際のコミュニケーション方法 ①小テスト
	授業外指示	移動・食事支援の際のコミュニケーションの留意点
第4回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション①聴覚機能が低下している人の特徴を学ぶ
	授業外指示	高齢者に多い聴覚障害をまとめる
第5回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション①聴覚機能が低下している人に対する支援の際のコミュニケーション方法 ②小テスト
	授業外指示	聴覚障害の方の心理的課題を学習しておく
第6回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション①精神障害がある人とのコミュニケーション
	授業外指示	精神障害がある方とのコミュニケーションをとるうえでの留意点について調べる
第7回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション② 認知・知覚機能が低下している人の特徴を学ぶ
	授業外指示	認知・知覚機能が低下している人の特徴を知る
第8回	テーマ 内容	障がいの特性に応じたコミュニケーション③ 認知・知覚機能が低下している人に対する支援の際のコミュニケーション方法 ③小テスト
	授業外指示	高次脳機能障害を調べる
第9回	テーマ 内容	介護上の他職種協働に必要なコミュニケーション①…職場におけるコミュニケーション
	授業外指示	職場におけるコミュニケーションの意義を考える

第10回	テーマ 内容	介護における他職種協働に必要なコミュニケーション②…記録の意義・目的
	授業外指示	記録の管理はどのようになされていたか(実習を経て)
第11回	テーマ 内容	介護における他職種協働に必要なコミュニケーション③…記録の種類、方法、留意点
	授業外指示	記録の種類にはどのようなものがあったか(実習を経て)
第12回	テーマ 内容	介護における他職種協働に必要なコミュニケーション④…IT活用の意義と注意点・情報の活用と意義
	授業外指示	ITを活用した記録の利点と課題を考える
第13回	テーマ 内容	介護における他職種協働に必要なコミュニケーション⑤…報告・連絡・相談の意義と目的
	授業外指示	報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の重要性をまとめる
第14回	テーマ 内容	介護における他職種協働に必要なコミュニケーション⑥…会議の意義・目的・種類
	授業外指示	職場における会議の意味を考える
第15回	テーマ 内容	これまでの授業を踏まえてのまとめ
	授業外指示	支援の際のコミュニケーションについて各自が考察し自分の言葉で表現する。